

編集後記

昨年9月に体調を崩して療養生活を送っていた、前事務局長の宮原一夫さんが去る5月23日に逝去されました。宮原さんは千葉市役所に入職後、千葉市職員労働組合の執行委員に就任して最初に担当したのが、自治研部長でした。千葉市職労の中で、本格的に自治研活動を取り組んだのは宮原さんがはじめてだと思います。いま考えてみますと、自治研センターの事務局長だった時には態度や口には出しませんでした。自治研センターにかける思いには強いものがあつたのではないかと感じています。その宮原さんの後の事務局長を継いだわけですが、力まずに地域の皆さんの役に立つ活動を進めていきたいと思っています。

今号の講演記事は「地方創生と地方自治」～地に足をつけて考える～がテーマです。内容はわかりやすく、切り込みの鋭いものとなっています。講師の青山先生の話聴いていて、その勉強量、情報量、地域をみる行動力が半端ではないなと感じました。昨年、増田寛也氏が「地方消滅」と言い出したことに触れて、「『地方消滅論』というのは、人口減少社会の処方箋を書いているようで、実は人口増加時代のパラダイムでものを考えている」と核心をつく話をされたのには感心しました。今後も、「もう少し話を聴いてみたい」と皆さんに感じてもらえるような講演会を企画していきたいと考えています。

昨年から連合千葉議員団会議と自治研センターの共同事業として、在宅医療等研究会を開催しています。統一地方選挙等の関係でしばらく中断していましたが、そろそろ再開していかなければなりません。特に、医療・介護問題は、まさに喫緊の政策課題であるとともに、地方ごとに異なる事情を勘案して、地方の実情に即した改革を進めていくことが求められています。各地域における「地方自治の力」が問われています。事業の推進にあたって、関係各位のご協力をよろしくお願い致します。

なお、宮崎伸光先生の連載記事「数字で掴む自治体の姿」は今回お休みします。次号をご期待ください。

事務局長 佐藤 晴邦

自治研ちば 既刊案内

2015年6月
(vol.17)



- ・巻頭言 衆議院議員 田嶋 要
- ・連合千葉議員団会議 調査研究事業 第1回シンポジウム
基調講演 地域でいきいきと暮らし続けるために ～在宅医療を考える～
NPO法人白十字在宅ボランティアの会理事長 秋山 正子
パネルディスカッション
司 会 理事長 法政大学法学部教授 宮崎 伸光
パネラー 千葉県医師会副会長 土橋 正彦
千葉県議会議員 天野 行雄
千葉県議会議員 石井 宏子
淑徳大学教授 鏡 諭
コメンテーター NPO法人白十字在宅ボランティアの会理事長 秋山 正子
- ・第9回千葉県自治研集会特集 パネルディスカッション
司 会 理事長 法政大学法学部教授 宮崎 伸光
パネラー 法政大学教授 杉田 敦
参議員議員 小西 洋之
弁護士 廣瀬 理夫
宮崎 伸光
- ・連載⑭：数字で掴む自治体の姿 理事長 法政大学法学部教授 宮崎 伸光
- ・連載⑮：自治体政策形成のキーワード
主任研究員（法政大学大学院公共政策研究科客員教授） 申 龍徹
- ・岐路に立つ日本 ―極右政治家安倍晋三と日本の未来―
弁護士 吉峯 啓晴
- ・シリーズ千葉の地域紹介
四街道市 こどもが真ん中。みどりいっぱい四街道でくらす
四街道市シティセールス推進課
- ・新聞の切り抜き記事から 研究員 鶴岡 美宏
- ・今期の入手資料 編集部
- ・編集後記 副理事長 高橋 秀雄
- ・一般社団法人 千葉県地方自治研究センターの概要（会員募集）

バックナンバーの申し込みは当研究センターまで
1部800円

自治研ちば VOL.18

2015年10月14日発行
発行 一般社団法人
千葉県地方自治研究センター
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10
千葉県教育会館新館6階
自治労千葉県本部内
TEL 043-225-0020
FAX 043-225-0021
編集 佐藤 晴邦
印刷 (株)メロウリンク企画
頒価 800円（送料別途）